

LORO

モノ・マガジン特別編集
都市生活とインテリアのトータル・コーディネート・マガジン
『ロロ』Vol.21

© WPP(禁・無断転載)
カバー写真 大段まちこ ODAN Machiko
カバースタイリング 平井かずみ HIRAI Kazumi
カバーデザイン 3MIN. GRAPHIC ASSOCIATES



LORO 目次

- 6 イントロダクション
- 8 クリエーターの住まい
〈イタリア、デンマーク〉

22 Milano Salone 2016

- 22 猪飼尚司さんによる世界の最新デザインをチェック
- 30 本間美紀さんによるユーロクチャー
- 34 ミラノサローネの楽しみ方、教えてください

三井デザインテック
デザインディレクター 見月伸一さん × モデル・タレント
藤井悠さん



- 36 [トピックス] 早く見たい新製品
- 40 見月伸一さんによるトレンド分析

42 [特集]

みどりのキッチン&ダイニング

- 42 グリーンファーム 渡辺有子さんのレシピ付き

料理家 渡辺有子さん × フラワースタイリスト
平井かずみさん

- 50 信頼できるオーガニック農家
- 51 みどりと上手に暮らすには
インテリアコーディネーター インタビュー
- 54 本間美紀さんが解説 ボタニカルキッチン
- 58 テーブルに野菜ガーデン 水耕栽培器
- 60 [カタログ]ボタニカル柄
- 61 [カタログ]グリーン色の名作家具
- 62 [カタログ]白ならみどりが映える



LORO

モノ・マガジン特別編集
都市生活とインテリアのトータル・コーディネート・マガジン
『ロロ』Vol.21



- 64 [カタログ] 鉢こそデザインが必要
- 65 Re:planter 村瀬貴昭のみどり

66 Iittala × Issey Miyake Home collection イッタラ デザイン・ディレクター、ハッリ・コスキネン インタビュー

- 68 イタリアに学ぶ 野菜・果物の飾り方
- 70 おもとの魅力

- 72 [連載]トラフの小さな都市計画
第2回「伝えたいデザイン」

74 デザインから感じるホテルの魅力 THE RITZ-CARLTON, TOKYO BOOK and BED TOKYO

82 フランスと暮らす

- 98 [連載]くいしん坊の昼ごはん
第2回「下鴨茶寮東のはなれ(銀座)」

108 本物を知る[照明編] 第5回「シャンデリア&ペンダント」

- 116 [連載]ファッション プロボウケターの部屋着考
第2回「ミリタリー部屋着」

119 リアル・コーディネーション〈モデルルーム〉

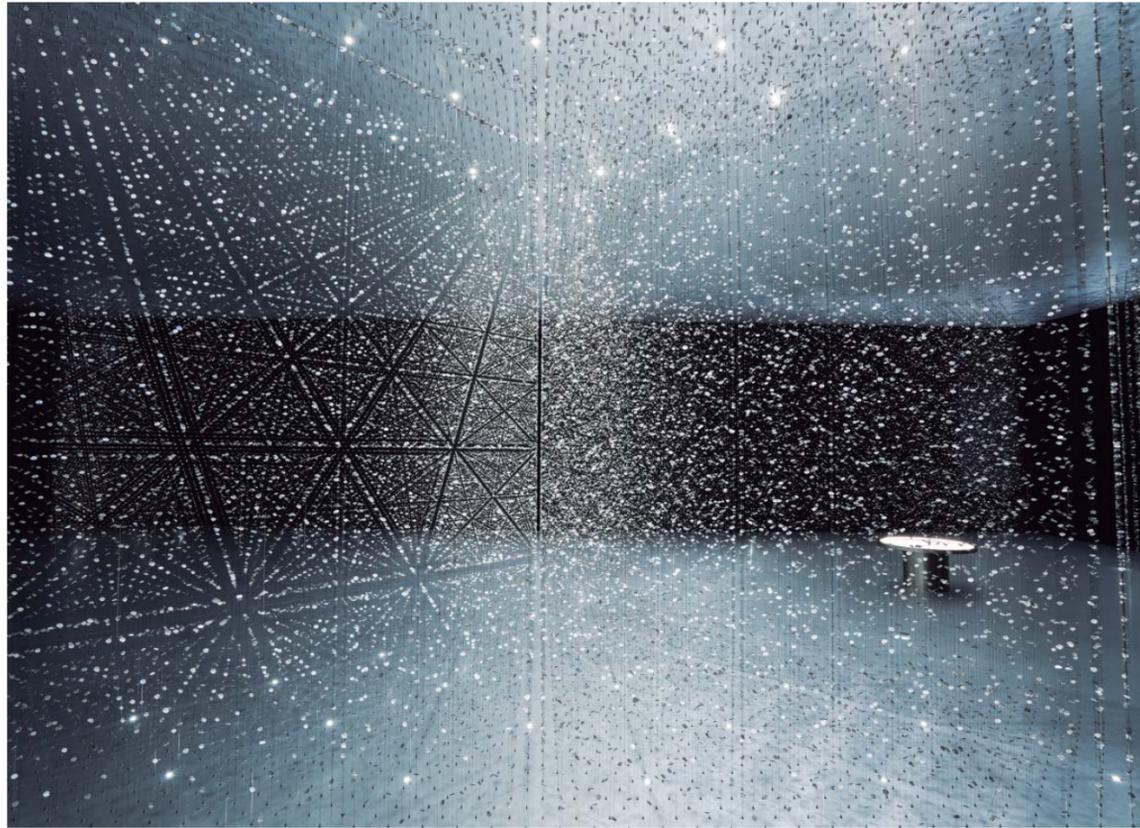
- 136 デザインニュース
- 142 バックナンバー
- 143 読者プレゼントのご案内
- 144 問い合わせリスト



クリエイターの 住まい

今回は、イタリア2軒とデンマーク1軒の住まいをご紹介します。いずれのお宅も、家具の配置や部屋の間取りから収納の仕方やカーテンの取り付け方まで、心地よく暮らすための仕掛けがあらゆるところに。採光の問題や広さの問題をうまく解決したお部屋をぜひご覧あれ。





時とはなにかをテーマに、シチズンが建築家、田根剛(DGT. Architects)と協働した「time is TIME」。腕時計に使われる直径26mmの地板、1万2千個を空間に散りばめ、その配列によって「オーガニックな時の流れ」と「システムティックに刻まれる時間」という異なる要素を表現。来場者はインスタレーション内部に入り込み、まるで宇宙のなかを漂うかのような幻想的な世界を体感する。



ほぼ毎年のペースで4月のミラノを訪れているが、今年のデザインウィークは2000年代に入ってから、もつとも勢いのあった年だったと言えるのではないだろうか。

国際家具見本市がそもそもこのイベントの起源となっていることから、ヨーロッパのトップ家具メーカーが競うように最新作を発表しているのは毎年のことながら、今年はベテランから若手までバランス良く活躍。ものづくりの根幹を支える現代クリエイターの層の厚さを実感するとともに、これからの時代もデザインがさらに発展を続けていくことを予見することができた。

また、家具業界以外にも新作を発表するだけでなく、企業のデザイン思想を深く追求し、新鋭のデザイナーとともにインスタレーションやコンセプトモデルを発表するチャレンジングな展示も多数見られた。なかでも次ページで紹介しているナイキの展示は大人気で、行列が出る日もあったとか。日本からもシチズンやトヨタ、AGC旭硝子、アイシン精機など、多様な分野の企業が参加イベントをさらに盛り上げていた。

近年、技術や素材の本質的な価値を見直し、そこに新たなベクトルを設ける傾向は多くみられるが、今年も歴史のあるブランドや伝統産業、工芸の現場が、伝統のなかで培った知恵と技と現代デザインの文脈とを見事に融合。従来のものとは一線を画す、これからの暮らしの空間を美しく彩るプロダクトの数々を発表していた。

ほぼ毎年のペースで4月のミラノを訪れているが、今年のデザインウィークは2000年代に入ってから、もつとも勢いのあった年だったと言えるのではないだろうか。

国際家具見本市がそもそもこのイベントの起源となっていることから、ヨーロッパのトップ家具メーカーが競うように最新作を発表しているのは毎年のことながら、今年はベテランから若手までバランス良く活躍。ものづくりの根幹を支える現代クリエイターの層の厚さを実感するとともに、これからの時代もデザインがさらに発展を続けていくことを予見することができた。

また、家具業界以外にも新作を発表するだけでなく、企業のデザイン思想を深く追求し、新鋭のデザイナーとともにインスタレーションやコンセプトモデルを発表するチャレンジングな展示も多数見られた。なかでも次ページで紹介しているナイキの展示は大人気で、行列が出る日もあったとか。日本からもシチズンやトヨタ、AGC旭硝子、アイシン精機など、多様な分野の企業が参加イベントをさらに盛り上げていた。

近年、技術や素材の本質的な価値を見直し、そこに新たなベクトルを設ける傾向は多くみられるが、今年も歴史のあるブランドや伝統産業、工芸の現場が、伝統のなかで培った知恵と技と現代デザインの文脈とを見事に融合。従来のものとは一線を画す、これからの暮らしの空間を美しく彩るプロダクトの数々を発表していた。

CITIZEN
time is TIME

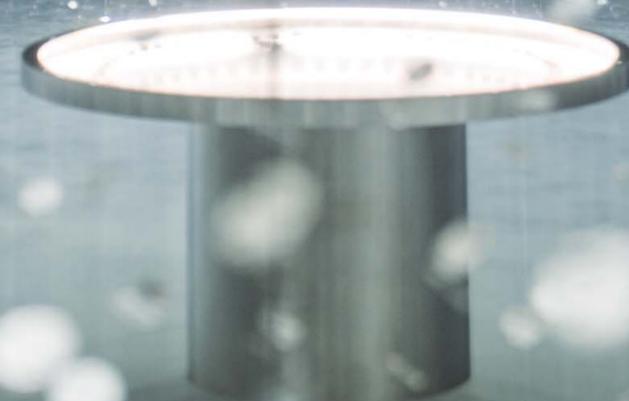
ミラノデザインウィーク2016

MILANO
DESIGN
WEEK
2016

世界の最新デザインをチェック

1961年にスタートした家具見本市をきっかけに、いまや世界最大のデザイン都市へと発展したミラノ。55回目を迎える見本市「サローネ・デル・モビエレ」のほかに、今年も過去最高といわれる数の企画展が市内で展開。さらにミラノトリエンナーレも同時開催されるなど、類をみない賑わいを見せた。その傾向と注目の展示を一挙に紹介。

Text=猪飼尚司 IKAI Hisashi



渡辺有子 WATANABE Yuko

FOOD FOR THOUGHT所属。素材の味を生かした、やさしくシンプルな料理が人気。ていねいな暮らしぶりや、センスある着こなし、器づかいでも注目を集める。著書『春夏秋冬、ストウブの料理』（学研パブリッシング）、『すっきり、ていねいに暮らすこと』（PHP研究所）、『サンドイッチの時間』（マガジンハウス）など多数。

平井かずみ HIRAI Kazumi

ikanika 主宰。草花がもっと身近に感じられるような「日常花」の提案している。東京・自由が丘の「café イカニカ」を拠点に、「花の会」や「リース教室」を開催。また雑誌でのスタイリングのほか、ラジオ番組に出演中。著書『フラワースタイルブック』（河出書房新社）、『ブーケとリース』（主婦と友社）など多数。

【特集】

みどりのキッチン&ダイニング

野菜やハーブ、根菜を大胆に飾り愛でる。そして栄養そのものをいただく。植物やハーブなどが溢れる、大地のキッチンガーデンを、料理家の渡辺有子さんとフラワースタイルの平井かずみさんにスタイリングいただきました。そのほか特集では、ダイニングチェアやキッチン家具カタログのほか、家具に近づいているといえるキッチン最新事情やみどりの上手な付き合い方など幅広くご紹介。

Photo=大段まちこ ODAN Machiko Food=渡辺有子 WATANABE Yuko
Styling=平井かずみ HIRAI Kazumi Text=口口編集部 LORO Magazine

料理家
渡辺有子さん



フラワースタイル
平井かずみさん



(P74) 襦を彩るのは、極楽にしか咲かない花・宝相華。着物作家が客室で直接襦に描いたものだという。過去と未来の文化の重なりが美しい絵となり、アートとなっている。
 (P75) トップスイートである「ザ・リッツ・カールトン スイート」のダイニングを、江戸切子のランプが照らし出す。また、優雅で壮大な壁が高砂のような質感を發揮し、空間全体の空気を司っている。



三井デザインテックがナビゲート デザインから感じる ホテルの魅力

その規模の大きさにかかわらず、訪れた人に心地よさを感じさせるホテル。その魅力の秘密を、デザインという切り口から紐解いてみよう。

Photo=熊谷義久 KUMAGAI Yoshihisa
Text=吉田溪 YOSHIDA Kei



ザ・リッツ・カールトン東京

THE RITZ-CARLTON, TOKYO

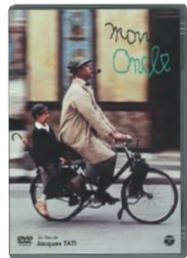
歴史に残るホテリエ、セザール・リッツ氏が確立したサービスやホスピタリティを継承するホテルとして、世界中にラグジュアリーなライフスタイルを提供している。2007年3月に開業したザ・リッツ・カールトン東京は、2015年に「モダンジャパニーズ」をコンセプトに全客室とクラブラウンジの改装を行い、9月にグランドオープンした。



【ナビゲーター】
三井デザインテック
荒瀬仁之
ARASE Hitoshi

三井デザインテックにて、ホテルの空間プロデューサーとして活躍する。これまでに携わったホテルは日本各地に及び、デザインや設計にも造詣が深い。自らもデザインを手掛けながら、ホテルのインテリアを数多くプロデュースしている。

タチ初めてのカラー作品だけに、モダンなアルベル夫妻が住む家の室内にはハイセンスで色鮮やかな家具が贅沢に配置されている。いかにもフランスらしい家具のセレクトとカラーのセンスは、58年前の映画とは思えないほど、鮮烈に浮かび上がる。フランスのインテリアをイメージするのに最適な映画でもある。



ジャック・タチ『ぼくの伯父さん』(DVD) 1958年のジャック・タチ監督作品。本編116分+特典映像収録(評論家ステファヌ・グデによる作品分析「すべてに意味がある」)54分。価格4104円(税別)日本コロムビア



ヴィーブル ア ラ フランセーズ

Vivre à la Française フランスと暮らす

パリから発信される情報は、世界が注目する情報源でもある。特にファッションに関しては他を圧倒するセンスが感じさせられるところ。はたしてインテリアの世界においてはいかがだろうか？ フランス流のモノを通して、そのセンスを感じとっていただき、お部屋のコーディネートに活かしてほしい。

Text = LORO編集部 LORO Magazine

真上から見るとよくデザインの特徴がわかる。フリップ・ニグロがデザインしたソファ。数々のデザイン賞を受賞している「コンフルアンス」は、パズルのような組み合わせを楽しむことができ、また、カラーオーダーを同色で揃えるか、別々にしてコンビ張りにするかで、より個性的な空間作りができる。リン・ロゼのこのコーディネート写真からも対面座りする、ソファのデザインに加えて、配置された丸テーブルやペイントしたタイヤなど、どこかハズした空間作りがなされているのも、フランスらしいところ。ソファの価格31万3200円〜 ©リン・ロゼ東京



©Les Films de Mon Oncle - Specta Films C.E.P.E.C.



アルベル夫妻は超モダンな住宅に、一人息子のジェラルドと住んでいる。ジェラルドは人間味がある下町に住むユロ伯父さんと遊ぶのが好き。ユロを心配する夫妻は仕事やお見合いを進めるのだが……。隅々までタチのユーモアがちりばめられた代表作であり仏映画珠玉の名作。タッチのユーモアは、左のシーンからもうかがわれる。怪しい影に気づき、窓に立つ夫妻の頭で、目の窓になってしまうところなんかも多くある見どころのひとつだ。

フロス/イタリア
FLOS
 2097 50/30

ジーノ・サルファティがデザインし、1958年に発表されたソケットむき出しの灯具に既成のパイプを組み合わせたモデル「2097」は、ヨーロッパの伝統的なシャンデリアの様式をモダンデザインの文脈で解釈して作られたエポックメイキングな傑作シャンデリア。価格45万9000円(右・50/ゴールド)、価格28万7280円(左・30/クローム) ©日本フロス



Photo=Beppe Brancaton



[照明編]
本物を知る
 第5回
「シャンデリア&ペンダント」

クラシックからモダンまで、華やかに空間を彩るシャンデリア。カラフルなものや複数灯組み合わせた空間演出など、ここ数年、デザインや表現に広がりが見られるようになってきた。あわせて、一灯でも、組みあわせても、空間のポイントとなるペンダントをピックアップ。天井の低い日本の住環境にも合うものも数多く出ているので、住空間のアクセントとして、自身の環境に合うモノを選んでいただきたい。

Text=LORO 編集部 LORO Magazine



リヤドロ/スペイン
LLADRÓ
BELLE DE NUIT
 ベル・ドゥ・ニュイ

リヤドロ独自のポーセリンから放たれるあたたかみある光が室内に温もりを与えるシャンデリア。ベル・ドゥ・ニュイ(「夜の美女」の意味をもつオシロイバナのフランス語名)コレクションは、成長に従って花々が変化する、不思議な魅力を持つオシロイバナからインスピレーションを得て発表。価格226万8000円(上・24 L/マルチ)、価格253万8000円(下・24 L/ゴールド) ©リアドロペティック銀座本店